

名称 所在	用途 (令別表)	発生日時等	構造・階層 面積	焼損程度 (焼損面積) 延面積	死傷者
八峰館 東京都豊島区 池袋東2-17	旅館 (5)イ	昭和40年2月4日	防火 ㄨ	㊦・半・部・小	死者 2名 傷者 8名 (5)
		出火2時33分ころ 覚知2時36分 覚知別 報知電話 鎮火4時27分	建 336m ² 延 756m ²	756m ² (100%)	

I 火災概要							
①概要	本火災は、深夜に防火造2階建の旅館の1階玄関付近から出火し、自動火災報知設備が無い等の理由で、早期に発見出来ず、加えて構造的な弱さから、入試受験の為に上京して宿泊していた生徒と引率教員が建物内部の不案内や、出火時の着替に時間を取られ避難のタイミングを失い死亡に至ったものであり、今後この種旅館の人命安全確保の面から問題となった火災である。						
②階別状況	階	床面積 m ²	焼損床面積 m ²	用途(売場)	在館者	死者	避難設備等 消防用設備等
	2	336	336	客室	客15従3	2(女)	屋内階段 4箇所 ㊦ 8
	①	336	336	フロント客室 浴場・ホームバー	客3従4		
	BI	84	84	ボイラー室			
	合計	756	756		25	2	
③出火場所	(階, 室, 部位, 可燃物状況, 居室・非居室, 在・不在) <u>1階ホームバー西側の外壁から出火</u>					④出火原因	

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">(出火部位) 1階ホームバー 西側の外壁</div> <div style="text-align: center;">(出火場所の拡大) 間柱から内壁へ更に 天井へと燃え移る</div> <div style="text-align: center;">(上階への延焼) 壁体空間を燃え上がり 天井裏及び2階へ延焼</div> </div>	
	<p>1階ホームバー西側の土台付近の壁間からの火炎は、内壁の合板に燃え移り、火勢を強めていくとともに、火炎は壁体空間を上昇して天井裏及び2階へと延焼拡大していった。</p> <p>○ 延焼拡大した主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外壁と内壁との間から出火したため、壁体空間を延焼した。 ○ 発見・通報が遅れ、また火点が壁内のため、有効な初期消火ができず延焼拡大した。 ○ 煙の伝播経路 出火に伴ない、煙は壁体内部を上昇し、天井裏及び2階壁内を充満していき、延焼拡大により屋内階段等から2階へ上昇し、2階は濃煙に包まれた。 	
II 火災建物概要		
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 (営業) 昭和27年4月 日 (増改築) 昭和39年9月 日	
管 理 状 況	② 縦 穴 の 状 況	③ 防 火 管 理 状 況
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレーター <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 防火区画なし	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防火管理者 選任届出済 ○ 消 防 計 画 提 出 済 ○ 消 防 訓 練 年2回程度実施 ○ 防火管理体制に関しては形式的にととのっていたが、その内容は全く実行性はなく、所有者・防火管理者共に火災予防に無関心である。 ○ 査察時に多くの不備欠陥が指導されているが何ら改善されていない。
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等	⑤ 消 防 用 設 備 等
	特記なし	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動火災報知設備、漏電火災警報器、誘導灯、避難器具が未設置であり、消防用設備は消火器のみであった。

III 火災後の行動	
① 発 見 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ○発見者 (宿泊客S子) ○発見の動機 (壁の間から煙が出てくる) ○発見後の行動 (火事だと騒ぎ知らせる)
	<p>出火室の上階（2階）に家族4人で泊っていた客が壁間の煙に気づき、娘を階下に見に行かせたところ、ホームバーの奥が赤く燃えていたため、火事だと騒いで知らせた。</p>
② 通 報 状 況	<p>通 報 した <input type="checkbox"/> 発見後約()分 しない <input checked="" type="checkbox"/> (通行中のタクシー運転手が通報)</p>
	<p>通行中のタクシー運転手A男が客輸送の帰途火災を発見し、50m先の交番に知らせ、巡査が通報した。</p>
③ 初 期 消 火 状 況	<p>消 火 した</p> <p>成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>
	<p>消 火 しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
④ 消 火 活 動 概 要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大規模木造の特殊建築物(旅館)であり、主要出入口の1階玄関付近から出火しており、延焼拡大が早く、また進入救助経路の困難等が生じ、この面から消防活動に支障となった。
	<p>(理由又は状況)</p> <p>従業員のS男は、発見者の声に気づき、バケツで初期消火にあたったが、時期が遅く、消火しきれなかった。</p>

	避難方法	避難上支障事項		
⑤ 避難 状況	<ul style="list-style-type: none"> ○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (9 人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input checked="" type="checkbox"/> (9 人) ○救助 <input checked="" type="checkbox"/> (5 人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> 木造建物で燃焼が早い 		
⑥ 死者 の 状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> 健康人 名 (泥酔者 名) 要保護者 名 [乳幼児 名 高齢者 名 身体不 自由者 名 病人 名] </td> <td style="width: 70%; padding: 5px;"> 避難上支障となった事項 <ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	健康人 名 (泥酔者 名) 要保護者 名 [乳幼児 名 高齢者 名 身体不 自由者 名 病人 名]	避難上支障となった事項 <ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> 	<p>死亡した女性2名は、2階の同じ室に就寝していたが、物音や叫び声により火災を知ってから、寝巻を洋服に着替えて出たが、時期を失し濃煙に包まれ避難口が解らず、Y子(教員)は2階の他の室に飛込んで意識不明となり死亡、M子(学生)は出入口に倒れている所を消防隊に救出され病院に収容されたが死亡した。</p> <p style="text-align: center;">(※寝巻のまま逃げた同室のK子(学生)は無事避難している)</p>
健康人 名 (泥酔者 名) 要保護者 名 [乳幼児 名 高齢者 名 身体不 自由者 名 病人 名]	避難上支障となった事項 <ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> 			
IV 問題点・教訓等				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 温水ボイラーの煙突と木造壁との貫通部の防火措置が適切でなかったうえ、常時使用している階段において、火気施設の管理・点検が必要である。 2. 多数を宿泊する施設でありながら、火災の早期発見の手段である自動火災報知設備が設置されておらず、発見が著しく遅れた。 3. 火災の発生時の従業者等の通報、避難誘導等の実効ある体制が確立されておらず、形式的なものであった。 				

